

「傷病者情報共有システム開発・構築委託」特定結果

「傷病者情報共有システム開発・構築委託」について公募型プロポーザル方式で事業者選定を実施した結果、次のとおり事業者を特定しました。

1 業務名

傷病者情報共有システム開発・構築委託

2 業務内容

高齢化の進展などの影響に伴い、救急需要が増加し続ける中、救急活動時間（出場指令から医師引継ぎまでの時間）が延伸している。救急活動時間が伸びることで、各救急隊が管轄している地域内で救急隊が不在状態となるケースが各地で発生し、その結果遠方からの出場が増加するなど、現場到着時間の延伸・搬送の遅れに繋がっている。

出場指令から医師引継ぎに係る救急業務においては、電話や書面での傷病者情報の伝達、書面による診断結果の受領などの対応を行っている。その結果、1件目の医療機関で傷病者の搬送先が確定しない場合、搬送先医療機関が決まるまで、同じ内容（傷病者情報）を繰り返し行う必要があるため、搬送先確定までに時間を要し、医療機関内の伝達も口頭伝達であることから、傷病者情報の伝達エラーのリスクがある。また、書面により医師の初診時診断結果等を記入しているため、救急活動データへの入力など重複作業が発生しているなど課題がある。

上記背景を受け、横浜市では、傷病者情報共有における一連業務のデジタル化の実現に向けた検討を進めている。今後も増加が予想される救急需要に対応していくため、救急隊と医療機関の連携強化、救急隊の現場活動や医療機関の受入対応の効率化、救急隊が行う事務処理の効率化を目指し、傷病者情報共有システムの導入を行う。

3 特定事業者

日本電気株式会社 神奈川支店

4 評価結果（評価委員6名による評価）

	提 案 者	評価点数 (690点満点)
1	日本電気株式会社 神奈川支店	608
2	T X P M e d i c a l 株式会社	576
3	株式会社 S m a r t 1 1 9	464
4	株式会社 フレクト	440
5	株式会社 ネオジャパン	390

5 評価委員会開催経過・評価基準等

令和7年5月13日に公告をしたところ、令和7年5月23日の参加意向申出書提出期限までに6者の申し出がありました。その後、令和7年6月18日の提案書提出期限までに5者から、提案書の提出がありました。

令和7年6月27日のプロポーザル評価委員会においてヒアリングを行い、令和7年7月11日の消防局第一業者選定委員会において、プロポーザル評価委員会における基準を満たしている事業者を契約締結の候補者として特定しました。

※評価基準については別紙のとおりです。

提案書評価基準

(1) 評価方法

評価委員 1 人あたり 115 点満点とし、下記評価項目について評価を行い、合計得点の高い者を特定する。

(2) 評価点が同点の場合の措置

評価委員の採点の合計点数が同点の場合、次の順序で上位の提案をプロポーザルの上位者とする。

- ア 加重倍率が 3 の項目の合計得点が上位の者
- イ 5 点の評価点項目が多い者
- ウ 加重倍率が 3 の項目に 1 点の評価点が無い者

(115点満点)

順番	評価項目	評価の着眼点	点数			倍率	満点
			良い	>>	普通		
1 實施体制等(配点:15点)							
1.1	人員体制	業務を遂行するのに十分な人員・組織体制が、具体性・実現性を持って提案されているか。	5	3	1	1	5
1.2	業務管理	本業務を理解し、適切なスケジュール管理及び情報共有がなされる業務管理体制が提案されているか。	5	3	1	1	5
1.3	意欲	本業務に対する姿勢が適切で、意欲が感じられるか。	5	3	1	1	5
2 提案内容(配点:75点)							
2.1	システム構築の理解度	システム構築にあたり、目的・課題等を理解し、解決に向けた提案がされているか。	5	3	1	3	15
2.2	セキュリティ対策	各工程のリスクについて理解し、セキュリティ基準に沿った提案がされているか。	5	3	1	3	15
2.3	システムの工夫	救急隊や医療機関の業務負荷軽減など、利用促進につながる機能・運用方法が提案がされているか。また、任意要件の実現について提案されているか。	5	3	1	2	10
2.4	システムの連携	他のシステムとの連携について、有用な提案がされているか。	5	3	1	3	15
2.5	システムの発展性	国が整備するプラットフォームとの連携や今後のDXの発展、新たな技術の導入、拡張性など、将来を見据えた提案がされているか。	5	3	1	2	10
2.6	円滑で安定的な運用	円滑で安定的な運用・保守管理を想定できているか。 また、ランニングコストの考え方について、妥当性があるか。	5	3	1	2	10
3 操作性向上等に向けた取組内容及び意欲(配点:15点)							
3.1	操作性向上に向けた取組み	ユーザー目線での操作性向上に向けた取組や、必要な情報にたどり着くための工夫に関する提案について、具体性、現実性、妥当性があるか。	5	3	1	3	15
4 業務実績(配点:5点)							
4.1	業務実績	過去の実績や、自治体をはじめ国内外との業務経験等の実績など、本業務の実績に寄与する事業実績を有しているか。	5	3	1	1	5
5 企業としての取組(配点:5点)							
5.1	ワークライフバランス・障害者雇用、健康経営に関する取組	次の項目を満たしているか (2項目以上:5、1項目:3、0項目:1) <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(従業員101人未満の場合のみ加算) <input type="checkbox"/> 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定(従業員101人未満の場合のみ加算) <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法による認定の取得(くるみんマーク)、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、又はよこはまグッドバランス賞の認定の取得 <input type="checkbox"/> 若者雇用促進法に基づくユースエール認定の取得 <input type="checkbox"/> 障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.3%の達成※達成している(従業員43.5人以上)、又は障害者を1名以上雇用している(従業員43.5人未満) <input type="checkbox"/> 健康経営銘柄、健康経営優良法人(大規模法人中・小規模法人)の取得、又は、横浜健康経営認証のAAAクラス若しくはAAクラスの認証	5	3	1	1	5
合 計							115